

2025 年度 教職者参加ゼミナール

このゼミナールは、本校の最終学年の特別講義および演習を教職者と学生の共同研究の場とし、教会と神学教育の結びつきをいっそう緊密にする目的で行われている。

日本聖書神学校 教務部

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
Tel: 03-3951-1102 Fax: 03-3951-3044
Email: kyomu@jbts.ac.jp



■ 講義期間 4 月～ 10 月

※各講義によって開講期間が異なりますのでご注意ください。

※休講等により授業回数・日時が変更になる場合、補講が実施される場合があります。

※正科生（4 年生）の受講希望が無い場合、開講されません。

※通学が困難な方のため、各科目 3 名までオンライン（Zoom）受講を受け入れます
（希望者多数の場合は選考）。

■ 場 所 本校校舎（JR 目白駅徒歩 10 分）

■ 参加資格 キリスト教教職者で、教授会で適当と認められた者

■ 参 加 費 1 科目 15,000 円

■ 申込〆切 3 月 20 日（木）

■ 申 込 先 本校教務部宛に申込書（または必要事項）をメール等で送付してください。

授業日・時間 水曜 19:55 ～ 21:25

4月9日、4月16日、4月30日、5月7日、5月14日、5月21日、5月28日、*6月4日（短縮・時間変更 19:35 ～ 20:50）、6月11日、6月18日、6月25日、7月2日、7月9日、7月16日、9月24日、10月1日、10月8日、10月15日、10月22日、10月29日の20回

講義概要

「マルコによる福音書」を原典から注解書・各種の翻訳などを用いて精読し、釈義することを通して、物語的特徴、神学的特徴について触れる。その学びを通して、「マルコによる福音書」が示す今日的使信について議論する。

授業内容

- 1 ガイダンス
- 2 「マルコによる福音書」概論
- 3 注解書の読み方
- 4～18 受講者希望箇所による釈義（各学生の発表と考察）
- 19 マルコによる福音書執筆時代についての考察
- 20 まとめ

教科書

The Greek New Testament, United Bible Societies, 3rd ed. (Corrected) 以降
または、Nestle-Aland, *Novum Testamentum Graece*, 26th ed. 以降
各種翻訳聖書

参考書

ウィリアムソン L、『マルコによる福音書—現代聖書注解—』、山口雅弘訳、日本基督教団出版局、1987
大貫 隆、『マルコによる福音書（1）（リーフバイブルコメンタリー）』、日本基督教団出版局、1993
シュヴァイツァー E、『マルコによる福音書—N T D 新約聖書注解』、高橋三郎訳、N T D 新約聖書注解刊行会、1986
田川建三、『マルコ福音書上巻（現代新約聖書注解全書）』、新教出版社、1972
デン・ヘイヤール、C. J.、『コンパクト聖書注解 マルコによる福音書 I』、伊藤勝啓訳、新教出版社、1996

備考

初回のガイダンスで授業の進め方について説明する。

旧約学ゼミ

教職参加ゼミ

担当講師 小林祥人

授業日・時間 水曜 18:15 ～ 19:45

4月9日、4月16日、4月30日、5月7日、5月14日、5月21日、5月28日、*6月4日（短縮・時間変更 18:15 ～ 19:30）、6月11日、6月18日、6月25日、7月2日、7月9日、7月16日、9月24日、10月1日、10月8日、10月15日、10月22日、10月29日の20回

講義概要

旧約の思想を学ぶゼミです。旧約の神がどのような神であるのか、また示された律法（＝神の教え）の本当の中身は何であったかを常に考えつつ、テキストを読んでいくことにしましょう。

授業内容

旧約全般から適宜選択して関心を共有していきますが、おもにヨブ記・詩編・シナイ伝承などを扱う予定です。

成績評価方法

授業での自身の発表。また仲間たちの発表に対する応答を評価します。

教科書

授業の中で案内します。

参考書

授業の中で案内します。

授業日・時間 木曜 18:15 ～ 19:45

4月10日、4月17日、4月24日、5月1日、5月8日、5月15日、5月22日、5月29日、*6月5日（短縮・時間変更 18:15 ～ 19:30）、6月12日、6月19日、6月26日、7月3日、7月10日、9月18日、9月25日、10月2日、10月16日、10月23日、10月30日の20回

講義概要

本講義では、「組織神学（神学概論）」（2年）と「キリスト教教理史」（3年）の履修を通して習得したキリスト教信仰についての基礎的な理解を土台とし、組織神学におけるより専門的な知識を修得することを目的とする。具体的にキリスト教信仰全体を貫く思想内容を（参考書や基本文献・資料を）購読しながら思索し、自分自身のテーマを発見して学問的に深めて取り組んでいく。そして各自の興味のある主題において、組織神学の知識を用いて優れた特色ある研究を行っていくことを目指していく。後期には、各受講者に発題・プレゼンテーションをしてもらい、それによって主題を正確に理解し、適切に要約、更に議論に必要な論点を抽出する能力を身につけることを目指す。卒論に関連する情報を効果的に収集・整理・蓄積する力を養うと共に、発表のための技法と学術レポート作成のための文書作法を身につけていくことを達成目標とする。討論や演習での議論の中で、そうした力を修得していくことを目指したい。

授業内容

1. オリエンテーション 講義の概観とイントロダクション
2. 神学の課題に関する（基本文献の収集と）テキスト購読
3. 啓示論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読
4. 聖書論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読
5. 神論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読
6. 人間論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読
7. キリスト論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読 ①
8. キリスト論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読 ②
9. キリスト論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読 ③
10. キリスト論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読 ④
11. 聖霊論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読
12. 救済論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読
13. 教会論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読 ①
14. 教会論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読 ②
15. 終末論に関する（基本文献の収集と）テキスト購読
16. 学生による発題（卒論と関連させて。もしくは他のテキストを用いて）
17. 学生による発題（卒論と関連させて。もしくは他のテキストを用いて）
18. 学生による発題（卒論と関連させて。もしくは他のテキストを用いて）
19. 学生による発題（卒論と関連させて。もしくは他のテキストを用いて）
20. 学生による発題（卒論と関連させて。もしくは他のテキストを用いて）

教科書

- ・2年次「組織神学」講義ノート（受講していない者にはPDF ファイルを事前配布する）

参考書

- ・各信仰告白、信条、教理問答
- ・コリン・E・ガントン著『キリスト教信仰：キリスト教教理入門』、柳田洋夫訳、教文館、2024年
- ・アリスター・E・マクグラス編著『キリスト教神学資料集 上下』、古屋安雄監訳、キリスト新聞社、2007年、2013年

2025 年度 日本聖書神学校 教職者参加ゼミナール申し込み書

申込日： 年 月 日

フリガナ

名 前

住 所

電 話

メー ル

教 会

出身神学校

希望受講科目

受講方法

対面 ・ オンライン (Zoom) どちらかに○

申込先

日 本 聖 書 神 学 校 教 務 部

〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
Tel: 03-3951-1102 Fax: 03-3951-3044
Email: kyomu@jbts.ac.jp

※メールでの申込の場合、メール本文に各事項を記載していただいてもさしつかえありません。